

(1) $EC = x$ とおく。

余弦定理により、

$$BC^2 = 4^2 + 5^2 - 2 \cdot 4 \cdot 5 \cdot \cos 60^\circ = 21$$

したがって、 $BC = \sqrt{21}$

AD : DC より、 $AD = \frac{5}{3}$, $DC = \frac{10}{3}$

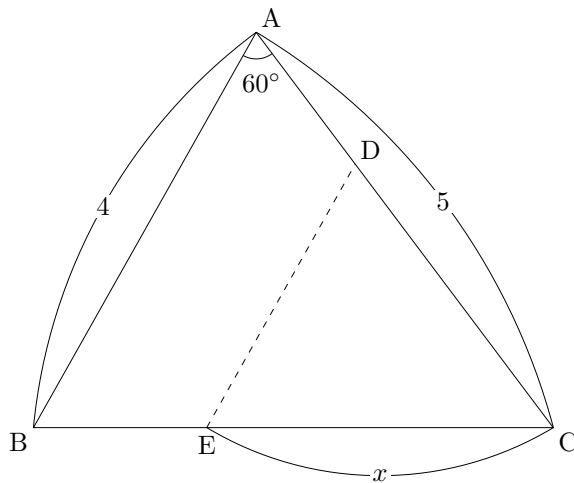
三角形 ABC の面積を S とすると、

$$S = \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot 5 \cdot \sin 60^\circ = 5\sqrt{3}$$

このとき、

$$\begin{aligned} T &= \frac{\sqrt{21} - x}{\sqrt{21}} \cdot S \times \frac{\frac{10}{3} \cdot x}{5\sqrt{21}} \cdot S \\ &= \frac{50}{21} (-x^2 + \sqrt{21}x) \\ &= \frac{50}{21} \left\{ -\left(x - \frac{\sqrt{21}}{2}\right)^2 + \frac{21}{4} \right\} \end{aligned}$$

となり、 $0 < x < \sqrt{21}$ において、 $x = \frac{\sqrt{21}}{2}$ のとき、 T は最大値 $\frac{25}{2}$ をとる。



(2) 4点 A, B, E, D が同一円周上にあるとき、 $\triangle ABC$ と $\triangle DEC$ は相似となる。相似比を k とする

と、 $DE = 4k$, $EC = 5k$, $CD = \sqrt{21}k$ ($0 < k < 1$) である。

線分 DE が $\triangle ABC$ の面積を二等分するとき、 $\triangle DEC$ の面積は $\frac{5\sqrt{3}}{2}$ となる。

したがって、

$$\frac{1}{2} \cdot DE \cdot EC \cdot \sin 60^\circ = \frac{5\sqrt{3}}{2}$$

$$\frac{1}{2} \cdot 4k \cdot 5k \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{5\sqrt{3}}{2}$$

$$k^2 = \frac{1}{2}$$

$0 < k < 1$ より、 $k = \frac{\sqrt{2}}{2}$

以上から $DE = 2\sqrt{2}$